

広報

やすらぎ

No.103 令和3年3月15日発行



利用者の皆さんとのふれあい

アンフチメグ（アンハ）、ノミニズル（ノミン）の介護技能実習がスタートしました。モンゴルから日本に入国し、まずは二ヵ月間盛岡で日本語の研修。ぶなの園には1月26日に来園し、その日に理事長から辞令が交付されました。翌日からは座学を中心に実習が始ままり、介護現場の見学、利用者とのコミュニケーションから、徐々に基本的な介護技術の指導に入っています。また、職員が二人ずつ毎日入れ替わり、互いに

居住場所は猿橋の職員宿舎、法人で住宅を購入して宿舎に入るもので、雪がある間は徒歩で通勤しています。今後地域の皆さんにお目にかかる機会が増えてくることになります。会話もかなりできるようになります。



爽やかスマイルのアンハ（左）とノミン

自己紹介をする時間を作りました。これは職員との距離を縮めながら日常の会話にも慣れてもらいたいというねらいがあります。二人はこれから定期的に日本語検定を受験して、一定レベルの日本語スキルを身につけなければなりません。介護技術と日本語を同時に修得していくために、本人たちの努力は勿論、職員の指導や支援の仕方も重要であり、そのためのチームを編成して月一回の会議も実施しています。

たので、ぜひ声をかけていただけます。どうぞよろしくお願ひいたします。



職員の指導を受けながら食事の介助

明るい笑顔で頑張ります！
技能実習いよいよ始動

ワカサギの釣果は!?

厳冬の1月下旬、テレビにワカサギ釣り解禁の映像が…。寒いのに何やら楽しそうな釣り人たち。ならば、ここ沢内でもワカサギ釣り解禁!新聞紙で作ったワカサギを湖面に見立てた桶に入れ、暖かい場所で竿を下ろす。待つのではなく、自分から針を引っ掛けに行く。本物のワカサギ釣りとは全く別物ですが、30秒間という時間制限のある中で、次々と釣っていくドキドキ感。「なんたら釣れねえ」、「いっぱい釣れた!」と釣果は人それぞれ。あとは本物のように食べられたらいいのに!



室内雪合戦でハッスル

連日の雪。去年と比べものにならないくらい積もった雪にため息が出てしまします。外になかなか出る機会が少なくなってしまう冬の時期、かたくりの園では運動不足解消にとゲーム週間を設け、室内雪合戦を楽しみました。新聞紙で作られた球を制限時間内に相手チームに投げ、最後に自陣に球が少ないチームが勝ち!という簡単なルール。ハチマキをし、チーム一丸となって球を投げあう姿は本当の雪合戦のようでした。今年は職員も参加。職員も良い運動になりました。



■先月22日、施設で97歳になるおばあちゃんの看取りがあった。開設時から22年と10ヶ月。時には励まされ力をいただき職員と共に歩んでこられた方で静かに息を引き取られた■施設から送り出すのは7年ぶりのこと。「最期は施設で」との故人や親族の想いを共有し、協力病院医師・医療スタッフの支援の下での看取りとなつた■ホーリに臨時の祭壇、写真や花が備えられ、家族、住民、職員が揃う中で、故人を偲び手を合わせるお別れ会。近年病院での看取りが常態化しているだけに、一緒に暮らした住民や職員が身支度を整え旅立つ姿を確認できることに、特養ならではの形を再認識した■「施設から送る」にあたっては、亡くなるまでの医師の訪問、看取り後の施設での死亡確認が欠かせない。こうした職員にも強く、スタッフの「できる」につながつたと振り返る。感謝。

和賀川
67
総括施設長
佐々木 一

ティナーピースかたくの園



2学年の皆さん



1学年の皆さん

雪像作りボランティア

沢内中学校1学年と2学年の皆さんがぶなの園周辺に雪像を作成し、その様子を利用の方々が施設内から見守るという交流が長い間続いている。もともと直接の接触がない方たちのボランティア活動であり、今年も2月12日に開催することができました。2学年モチーフに今年の干支の丑を、1



今年は晴れてくれました



温かく見守る利用者の方々

ケーキ喫茶で幸せタイム

みんな大好き、しっとりフワフワのケーキ。毎年1月はケーキを味わう企画が恒例となっており、今年は1月21日の開催でした。イチゴショートにチョコレートケーキ、キャラメルやマロン味のケーキなどが目の前にズラリ。コーヒーゼリーーやカップに入ったフルーツも人気でした。甘い香りを楽しみながら、表情までとろけそうになりました。



お好みのケーキをどうぞ

今年の節分は例年より一日早い2月2日、実に124年ぶりのことだそうです。鬼たちもそのことをしっかりと把握していました。間違うことなく登場してくれました。かなり体格のよい赤鬼、青鬼で迫力満点でした。神に転身して舞い戻り、豆を拾つて皆さんに手渡しておりました。予想外の展開が楽しかった今年の節分豆まきでした。



今年の節分は2月2日

26日 25 21 18 15 12 5日 4日 1日
 住民新年交賀会
 おせち料理
 理事長年頭挨拶
 コロナ対策本部会議
 出張理容
 小正月行事
 コロナ対策本部会議
 法人内部監査
 コロナ対策本部会議
 ケーキ喫茶
 広報やすらぎ発行
 外国人技能実習生辞令交付

[1月]

26 22 19 18 15 12 9 8日 2 1日
 コロナ対策本部会議
 節分豆まき
 恵方巻メニュー
 出張理容
 特養第三者評価委員会
 沢内中学校雪像作り
 コロナ対策本部会議
 出張理容
 在宅第三者評価委員会
 かたくり第三者評価委員会
 コロナ対策本部会議
 職員採用・登用試験

[2月]

あしあと

法人の主な動き

令和3年1月1日～2月28日

【ご寄付】

- ・高橋定雄 様
- ・加藤英子 様
- ・南川幸一 様

【ご寄贈】

- ・門脇ミヨ 様



あたたかい善意を頂戴し厚くお礼申しあげます

西和賀町からの支援を要望

外国人技能実習生の受入れを実施している町内4法人から西和賀町に、バックアップのお願いをしてきました。この制度の活用のために各法人では様々な準備や環境整備を行ない、そして今後の課題も多くあります。実習生の皆さんに介護の技能や知識をしっかりと修得していただくためにも、法人間の連携と町ぐるみのサポートが不可欠であると考えています。



町長に4法人から要望書を提出

やすらぎ会ホームページ 最新情報更新中!!

右のQRコードを読み取れば、スマートフォンでも簡単に閲覧できます。ぜひのぞいてみてくださいね♪



<http://yasuragikai.com/>

やすらぎ会広報委員会
 高橋 照井 千春
 佐々木 典子
 渉 柴田 元希
 高橋 真希

編集後記

突然の大きな振れ、直前の不気味な地鳴り。あの日の恐怖は脳裏から離れません。復興に何年かかるのかなんて考えられないのでした。10年後、またたく形の違う脅威と戦う毎日。やはり想像でいません。本当の春までどれくらい待てばいいのか…。

- 特別養護老人ホーム ぶなの園
- デイサービスセンター ぶなの園
- ホームヘルプステーション ぶなの園
- 西和賀介護相談室
西和賀町沢内字太田2地割135番地
電話0197-85-2322 FAX0197-85-2317
E-mail bunanosono@swc-yasuragikai.or.jp
- 高齢者生活福祉センターかたくりの園
西和賀町沢内字大野17地割140番地1
電話0197-85-3388 FAX0197-85-3389

【発行・編集】社会福祉法人やすらぎ会 広報委員会